



二松学舎大学  
**父母会報**

平成5年5月10日創刊  
 平成31年3月31日発行  
 (第104号)

二松学舎大学父母会  
 (本部・事務局)  
 東京都千代田区三番町6番地16  
 二松学舎大学学生支援課

題字は  
 故 観山貞広堂吉先生書



## 卒業を祝す

父母会長 宮脇 正裕



卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。また、卒業生の保護者の皆さま、お子様のご卒業を心よりお祝い申し上げます。

三月十四日(木)中野サンプラザホールにおいて、平成最後の学位記授与式(卒業式)が厳粛な雰囲気の中挙行されました。

卒業生の皆さん、今は、卒業出来たことに対し、達成感や充実感を感じているところでしょうか。また、四月からの新しい生活に対する期待や不安を感じている方もいるかもしれません。学位を取得できたことは、自らの努力はもろろんのこと、教授やご家庭の方をはじめ周囲の援助によるところが多分にあると思います。そのようなことに感謝の気持ちを持つことも大切だと思います。

学位取得はゴールではなく、一つの結節です。どうぞこれからの長い人生を生き生きと充実して過ごしてください。そのような姿を見せることが援助してくださった方々への一番の恩返しだと思います。五月には新しい時代がスタートします。来年には東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定される等、世の中が大きく動くことが予想されます。世の中の動きに同調しつつ、くれぐれも心身ともに健康・健全で過ごして頂きたいと思います。

卒業生の保護者の皆様、あんなに小さかった子供が学位を取得しました。感慨無量のことと思います。ただ、子育てに終りは無いように、次々と課題が出てくることでしょう。我々の時代と同様のこともあれば、全く想像もつかないこともあるでしょう。唯一出来ることがあるとすれば、子供がホッと一息つける場所を準備することぐらいでしょうか。人生百年時代です。子供の成長に負けないように頑張りたいものです。

二松学舎大学の先生方、子供の在学中大変お世話になりました。子供たちはこれから社会に出ているいろんな壁にぶつかることと思います。人生の良き先輩、相談者として引き続きよろしくお願い致します。

末筆となりますが、二松学舎大学及び同父母会の益々の発展と、会員・関係者の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

# 日々新たな気持ちで仕事を行い、 モラル感に基づいた寛容な心を持ち続けて！

理事長 水戸英則



皆さん、ご卒業おめでとうございます。これから社会へと旅立ち、サイバー社会の入り口に立っており、大変革の時代の入り口に立っていると言えます。この間、世界は保護主義と自由主義等政治の二極化が見られ、各種分断や格差が拡大しております。一部の勝者のみに富みが偏り、「欲望は善」との考え方が浸透した結果といえます。

自立した生活が始まります。平成を振り返れば、この十年間ネットとスマホを起点とするデジタル革命による経済回復、その後AI、IOT等を背景に成長したGAF Aの盛行など我々は

ルある組織や仲間や家庭は、お互いに助け合う、モラルに溢れる企業は従業員や地域社会に貢献する、企業投資も、環境を重視し、社会性を重んじ、堅固なガバナンスを保持している企業への投資、ESG投資が主流になるなど、そこには、格差や分断を縮めるメカニズムが見られます。こうした変化の激しい、予測が難しい社会へ出ていく皆さんが今後参考にして頂きたい点を申し上げます。第一点は、仕事や研究に当たり、変化を受け入れ、日々新たな気持ちで仕事をしていくことです。毎日の仕事は、同じ繰り返しではいけない。昨日より一歩でも進んだ形、「日々これ新」という気持ちで、仕事をしていくことが、大きな変革期にある

社会の中での生き方ではないかと思うわけです。二点目は、本学の建学の精神「東洋の精神による人格の陶冶」、この言葉を大切にしてください。東洋の精神とは、道徳心であり、モラルと云えます。これからの複雑かつ格差社会の中にあつては、人間相互の思いやりや相手の立場に立つての人間関係の構築が大切であり、社会的知性を発揮しての生活を送って欲しいと思います。皆さんはこれらを念頭において、仕事や社会的な活動の中で、日本や世界を、よりよい社会にする二松学舎大学卒業の有意な人材として活躍することを願います。

# 社会人としての自覚と責任をもって

学長 菅原淳子



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在学中の数々の思い出を胸に、新たな人生の扉を開こうとされている皆さん。未来に続く道に案内図はありません。自らの人生を自身の力で切り拓いて頂きたいと思えます。社会人となった時

に、大学で学んだ専門知識を必ずしも生かすことができないかもしれませんが、身に付けた考え方や学びの技術を駆使することで様々な分野で活躍することは可能です。皆さんがこれから生きていく時代は、人工知能(AI)やロボット技術を軸とする第四次産業革命の時代と言われています。さらに日本では人生一〇〇年時代に入ったとも言われ、このような時代に皆さんは人生

の様々なステージで学び直し、働き方を変えていくことになるでしょう。大学を卒業することは、決して学びの終了ではありません。情報が溢れ環境が急速に変化する時代、皆さんには変化を恐れず柔軟に対応し、絶え間なく新しい知識をインプットするよう学び続けて頂きたい。また、仕事を離れて家庭に入っても知的好奇心を常に持ち続け、生涯を通して学んで頂きたいと思えます。皆さんは、これからの人生の中で様々な問題に直面するでしょう。そこでは自らの力で解決方法を見出すことも求められるでしょう。その時問われてくるのは、「主体的に取り

組む力」、「自ら考える力」そして「やり抜く力」だと思います。皆さんがこうした力を、大学での四年間で身に付けて下さったと私は確信しています。皆さんが社会人としての自覚と責任を持って、社会に貢献されることを期待致します。どうぞ自信を持って新たな一歩を踏み出して下さい。様々な可能性を持つていらっしやる皆さんの前途が希望に満ち溢れていることを祈念して、贈る言葉と致します。

# 卒業する君たちへ

文学部長 江藤 茂博



長い学生生活を終えて、社会にいま踏み出そうとしている君たちには、さまざまな思いがあることでしょう。それは本当にさまざまで、とても一言にまとめることなどできないと思います。ただそこに含まれる、これまでの経験と知性を出発

に、そしてこれから手に入れる様々な賢知を大きな糧として、社会で活躍してもらいたいです。そんな君たちに、ひとつだけ言葉を贈るとしたら、負けないで、ということですよ。良いこともたくさんあるでしょうが、嫌なこともまたあると思います。嫌なことはもちろん無いに越したことはありません。私の場合ですが、学生の頃は、バイトなどの経験から他の人と一緒に仕事をすること

を恐れていました。人間観や社会観はもろろんのこと、日常のコミュニケーションの価値観も同じではないだろうし、そんな中で上手に生きていける筈はない、と。できるだけ避けていたつもりですが、いつしか就職し、多くの人たちと仕事をするようになりまして。ただ、それでも、怒鳴られたり、紙に書けといわれたり、目を合わせることもない応対をされたりと、苦手な場面に出くわすこともありまして。実は、そうした対応は親しさを示すコミュニケーションスタイルで、私のセンサーではあまり理解できないだけかもしれせん。そんなふうにも受けとめること

ができるようになりました。つまり、この負けないでとは、折れそうになる自分自身に向けての言葉にして欲しいのです。すでに社会の中で長く過ごしてきた大人は、自分のセンサーが異常なかと、己の心をほんのすこしばかり曲げながらやり過ごすこともできます。でも社会人一年生は、いろいろなことに心が折れ深く傷つくかもしれません。でも負けないでと自分に言って欲しい。少しだけしたたかに、そして、若竹のようにしなやかに、社会で大きく活躍してください。楽しみにしています。

# 卒業生に贈る

国際政治経済学部長 中山 政義



卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。二松学舎大学での学びを終え社会人となる皆さんに、一言お祝いの言葉を述べさせていただきます。

自由を過ごした学生時代とは異なり、社会人の生活が始まると人間関係の複雑さに迷うことや、社会の変化に戸惑うことがあるでしょう。そんな時には迷うことなく、二松学舎大学での学びを思い出し、自信を持って行動して下さい。

人口減少期の日本社会は、外国人を迎え入れながら多様な文化を包含する社会となり、AIやロボットは労働環境を根本から変えていくことでしょう。便利な世の中へと変わる中で、皆さんはその環境に順応しな

がら、競い合って活躍することを期待されます。アルバイト経験が無駄ではないにしても、求められるものが全く違います。とても厳しい…。その一方で、これからは思う存分に自分の力を試すことができるし、得られる達成感や利益も大きくなります。AIやロボットなどの技術革新によって多くの職種が消えるとの予想に不安を感じる人もいますが、産業革命の時代には失業者増加の予想に反して人手不足になりました。社会変化は急激で見通せないけれど、つまるところ、自分を信じて努力を絶やさなかった人達が、変化の中でチャンスをつかみ成功を収めて

きたのです。皆さんは、政治や経済の動向を見抜く力や、客観的に物事を判断する力を四年間の学びの中で会得していきます。どのような環境下で働こうとも、蓄積した知識を活かせるし、鍛えてきた論理的思考力と発言力を発揮できるはずです。社会人としての責任や周囲の期待の中で、困難に感じる時期もあるでしょう。そんな時こそ、自分を信じて謙虚に努力を続けていけば、きっと明るい未来が待っています。心よりご活躍をお祈りいたします。

# 文学部

国文学科・中国文学科の先生方から  
餞の言葉を頂きました。

「友、朋自遠方來、不亦樂乎、  
たまには近況を知らせて下さい。」

戸内俊介

吃得苦中苦、方為人上人。

永井 鉄郎

兵は神速を責ぶ(鄧嘉)

— 早めの行動を!

伊藤晋太郎

ひとつ、またひとつと  
自分でできることを

増やしていこう

それが自信につながります

小方伴子

人間は労働による自己の周囲に

宇宙をつくりだす。

(シモーヌ・ウェイユ)

立派な社会人になって下さい。

足立 元

二年では足りなくても

三年あれば

やれば人は変わる

市来津由彦

期待以上のものに出会うよ!!

乗り越えろ!  
(でも、覚悟して!!)

島田泰子

一笠風月

高橋佑太

人生を楽しもう!!

増田裕美子

別れは相も惜しめる百敷を  
見ながら、この何かが哀しみ

時には校舎を見に来てください

山崎 正伸

ご卒業おめでとうございます。

新たなフィールドでの生活がよいものと

なりますよう、エールを送ります。

改田明子

笑門来福

中川 桂

永寿禍福

原 由来志

信頼してるよ。

塩田今日子

たまには近況報告でも送って下さい。  
僕も必ず返事を書きます。

五井 信

犬を歩けば棒にあたる。

とにかく進んで行動して下さい。

色電平

いっしょに歩こう

福寿一孝

にものかわらず

君は生きよ

渡邊了好

パスが来る前に

周りをよく見ておこう

森野 崇

ありがとう  
高澤 浩一

「それはもはや別の物語り、  
新しい別の物語りでなければ  
ならない。」(大西巨人『神聖喜劇』)

山口直孝

千里之行、始於足下。

まずは最初の一步を

踏み出しましょう。

張佩茹

皆さんは本当に努力を続けました。  
夜会で、さらに大きな勇気になること  
を思っています。  
社会をリードする人になろうと、  
期待しています。  
塚沢一平

これまで自分でもなして来たことが  
これから頑張ることも支えになります。  
逆境がキッカケもチャンスでもあります。  
でも本当に無理な時は  
逃げるのもありです。谷島真大

君子は天職を奉ずる者なり。  
ひとりひとりが、自分の信ずる道を  
見出し、良い人を見つけて歩んで  
下さい。  
町泉寿郎

自分の言葉で考えよう。

牧角悦子

Way to go!  
白芽雅考

Live as if you were to die  
tomorrow.  
Learn as if you were to live  
forever.  
(Gandhi) 林謙太郎

至福は徳の報酬ではなくて徳れ自身である。  
(スピザ「エカ」) 瀧田浩

明日ありと思う心の仇桜  
夜半に山嵐の吹かぬものは  
(『親縁鳥聖人絵詞伝』)

小山聡子

楽しんでなるこそめでたけれ。  
多田一臣

七転八起  
中谷みみ

祝卒業

この先の難しい時代  
これ迄通り  
しなやかに  
乗り越えて  
行って下さい  
中所宜夫

何も無いところに光を見出すカケ源は  
たまたまとっしかなない。  
(齋藤陽道『宝箱』より)

荒井裕樹

積善乃

余慶

大藏吉次郎

楽しいと思える人生を送って下さい。  
松本健太郎

いつも笑顔で

挨拶をしよう

磯水絵

時が解決してくれらることも  
多いです。行き詰まった際、  
しばらく様子を見ることも  
お考え下さい。  
五月女肇志

# 国際政治経済学部

国際政治経済学科の先生方から  
餞の言葉を頂きました。

ご卒業おめでとうございます

六分の使気 四分の熱

高野和基

新社会人、がんばって下さい

須藤

ご卒業おめでとうございませう。  
一度きりの人生、明るく元気に  
前向きに歩んで下さい。

小具龍史

日々の何気ない営み

丁寧に

押野洋

地に足を

つけて。

白石 まりも

静かに行くものは  
健やかに行く  
健やかに行くものは  
遠くまで行く

渡辺和則

ご卒業おめでとうございます。

夢中になるものを見つけ、  
人生を楽しんで下さい。

手賀 裕輔

為せば成る

田端克至

ご卒業おめでとうございませう。

笑門栄福 いつもにこやかに  
ご活躍を心からお祈りいたします。

咲川 可央子

身体を鍛えて、がんばって下さい。

佐藤晋

ホ元気で、時々思い出して

山崎 愛一

ご卒業おめでとうございませう。

つまらない世の中でも、  
楽しく、楽しく、楽しく

自信をもって進んで下さい。

中山政義

ご卒業おめでとうございませう。

いくつになっても勉強すること  
楽しいとご感想下さい。

加藤木綿美

ご卒業

おめでとうございませう

石田 幸詞

金子智香

ご卒業おめでとうございませう。  
ご活躍を心からお祈りいたします。  
西川 ヴァネッサル 祐子  
Many congratulations on your graduation!  
I wish you all the best.  
Masako Nishikawa, Your Sister

BEST Wishes  
to  
all of you  
ON  
Your graduation  
Your new  
life starts  
Now.  
Life is a journey.  
Travel it  
well!

ファルネ AR

合六 強

社会ありところに  
法あり

土屋 茂

# 二〇一八年度 卒業式



二〇一九年三月十四日(木)、中野サンプラザホールにおいて、二〇一八年度二松学舎大学学位記授与式(卒業式)が挙行されました。着飾った卒業生たちが会場前に集合し、友達同士や親子で写真を撮る風景があちらこちらで見られました。

午前十時、開式宣言に始まり、国歌斉唱、学務局長による学事報告に続いて、文学部卒業生に学士(文学)、国際政治経済学部卒業生に学士(国際政治経済)の学位記・卒業証書が授与されました。

国文学科・中国文学科・国際政治経済学科それぞれの成績優秀者には、中洲賞として賞状と賞品が授与され、その後、教育職員免許状が伝達されました。

続いて菅原淳子学長の告示、水戸英則理事長・廣田克己松苓会長の祝辞、祝電披露、送辞、卒業生代表の答辞、国歌斉唱と進行し、厳粛のうちに卒業式は終了しました。

卒業生の皆さん、ぜひ自分の夢を大切にして粘り強く仕事に取り組み、社会人として活躍されることを願っております。



# 業

## 2018年度 卒業パーティー in ホテルグランドパレス ダイヤモンドルーム

2019年3月14日(木)、午後3時30分より  
ホテルグランドパレス  
「ダイヤモンドルーム」において、  
2018年度卒業パーティーが開催されました。  
パーティー会場では  
ゼミの先生を囲んでの写真撮影や  
友との語らいの楽しい時間が瞬く間に過ぎ、  
終了後は立ち去りがたく  
別れを惜しんでいる姿が見られました。





主催 二松学舎大  
共催 二松学舎大



卒業にあたり、新しい人生への、希望に満ちた門出に胸膨らませている学生三名に、四年間学んだ学生生活を振り返り、現在の心境及び感想等を語っていただきました。

## 『大学生生活を振り返って』



国文学科

小出悠嗣

「大学生活は人生の夏休みである」と聞いたことがあります（果たして本当にそうなのか私にはわかりかねますが）。夏休みの過ごし方が一人一人異なるように、四年間にわたる大学生活の過ごし方も人それぞれなのだと思います。私にとって二松学舎大学で過ごした大学生活は、「人との出会い」に恵まれたものでした。こうした大学生活を、私なりに振り返っていききたいと思います。

まず挙げられる「出会い」は、『万葉集』、そして塩沢一平先生との出会いです。私が最初に塩沢先生の授業を受けたのは、たまたまできた空き時間を有効に使いたいと思ったからでした。ちょうど空きコマにな

ってしまった時間に、塩沢先生の授業が開講されていたのです。その授業は受講生が四人と少数で、三週間に一回発表があるという厳しいものでした。しかし、だからこそ『万葉集』の基本的な知識や、発表方法等をしつかりと学ぶことができました。こうして私は『万葉集』の面白さにのめり込んでいきました。そしてそのまま塩沢ゼミナールに入り、『万葉集』を専門的に学ぶようになりました。特に卒業論文作成に当たっては、実地調査に赴き、第一線の研究者の方々から助言をいただくことができました。また『万葉集』以外にも、私は上代から近現代まで幅広く授業を受講しました。文学をと

ことん学びたいと思えば二松学舎大学に入学した私にとって、朝から晩まで文学づけという環境は素晴らしいものでした。このように私は塩沢先生をはじめとする多くの先生方との縁あつて充実した学習、研究ができました。時に厳しく、時に優しく指導して下さいました諸先生方にこの場を借りて御礼申し上げます。

次に挙げられるのは、学友たちとの出会いです。私が授業後に図書館で勉強していると、いつも同じゼミや講座をとっている友人と顔を合わせました。友人たちの勉強する姿を見ると、自分も怠けていけないと刺激を受けました。また、いくつかの授業では、学生同士が協力して発表を行う機会がありました。互いの強みを活かしながら発表の準備を行うことや、各自の意見を交流させて考えを拡げることが、私にとって貴重な経験であると同時に大切な思い出となりました。興味関心や目標を同じくする仲間たちと切磋琢磨したり、とことん話し合ったりすることができる、そんな学友たちが集まる二松学舎大学と縁があつてよかったと思つています。

最後に挙げておきたいのは、私の学生生活を陰ながら支えてくれた方々との出会いです。教職支援センターやキャリアセンター、教務・学生支援課、二松学舎サービス、図書

館・ラーニングコモンズ、そして今回このような場を提供して下さいました父母会等多くの方々の金銭的、環境的支援によって私は勉学に励むことができました。私が今日まで学んでこられたのはこうした方々の支えがあつてこそということに肝に銘じて、これからも精進していきたいと思つています。

私は今、大学生活を終えようとしています。私の大学生活は、世間一般の言うところの「キラキラした大学生生活」よりも地味なものであったと思われず。しかし後悔はしていません。確かに「キラキラ」はしていませんでしたが、私には「充実」はしていません。自分がやりたかった文学の勉強にとことん向き合うという自分なりの方法で、「充実」した大学生活を送ることができました。本当に大学生活が「人生の夏休み」であるならば、有意義な「夏休み」を過ごせたのだと思います。これらは全て私を支えて下さった方々のおかげです。繰り返してしまふ部分はありますが、諸先生方、友人、大学職員の方々、父母会の方々、加えてこれまで大変な思いをして私を育ててくれた両親に重ねて感謝したいと思つています。四年間本当にお世話になりました。そしてありがとうございました。

## 『読書の思い出』



中国文学科

清水 剛

中国文学科の自分にとって学生生活で最も印象的な思い出は、いくつかの中国古典を原文で読んだことです。中国語を学んで中国古典を原文で読むことが大学での目標でしたので、まがりなりにもそれを達成できたことに満足しています。読書遍歴というほどの大それたものではありませんが、以下にそれらの作品について少しばかり書いてみたいと思います。

『史記』には個性的な歴史上の人物が数多く登場します。なかでも鴻門の会や四面楚歌で有名な項羽と劉邦の争い、秦の始皇帝の暗殺を企てた荊軻(けいか)についての記述を面白く読みました。項羽の「力は山を抜き気は世を蓋う」、荊軻の「風蕭蕭として易水寒し」という詩の一節は、われわれ日本人にもなじみ深いのではないのでしょうか。

『紅樓夢』は清代の長編小説です。全百二十回のうち、八十回までは曹雪芹の作、あとの四十回は後人が補ったものです。『史記』の文章が文言(文語体)で記されているのに対し、『紅樓夢』は白話(口語体)で記されています。

この小説に描かれるのは、賈宝玉という貴公子と従妹の林黛玉との叶わぬ恋ですが、二人はたがいに想いを寄せ合うのですが、宝玉は別の女性と結ばれることが宿命づけられています。

『水滸伝』は明代に成立した白話小説です。作者は施耐庵とされていますが明らかではありません。『三国志演義』『西遊記』『金瓶梅』とともに四大奇書の一つに数えられています。

北宋の徽宗(きそう)皇帝の時代、宋江を首領とする百八人の盗賊が梁山泊という山塞に集結し、朝廷の差し向ける討伐軍を打ち負かす、というのが物語前半の大筋です。この小説は理屈抜きに面白いので一気に読みましたが、朝廷に帰順して官軍となった梁山泊軍が異民族や反乱軍の征伐に向かう物語後半は、読み進めることがつらくなりました。

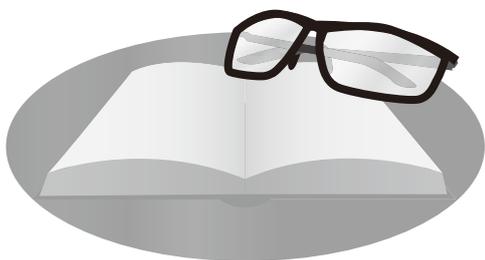
『漢書』は後漢の班固が著した前漢一代の歴史書です。『史記』に始まる紀伝体で記された二十四の歴史書のうち、二番目にあたります。

『漢書』に登場するのは前漢に活躍した人物達です。一例を挙げれば、中島敦の小説『李陵』で知られる李陵と蘇武の伝記も収められています。残念ながら大学卒業までに最後まで読み通すことはできませんでしたが、残りは宿題として卒業後に読

もうと考えています。

入学当初はあれもこれも読んでみようと思気込んでいましたが、四年の月日はまたたく間に過ぎてしまい、結局以上に挙げた数作品しか読むことができませんでした。けれどもそれぞれの作品と時に悪戦苦闘しながら向き合った日々は、とても楽しく有意義なものであったと感じています。

最後になりましたが、大学生活を支えて下さった多くの方々には深く感謝いたします。本当にありがとうございました。



## 『この四年間を振り返って』



国際政治経済学科

梶田 純平

四年間という月日も、今振り返ってみると、あつという間に過ぎてしまったように思います。もう、学校に通いだれかの講義を受けることもないのだと思うと寂しい気持ちになり、また、社会人になる前にまだやり残したことがあるのではないかも考えてしまいます。

大学に入学した頃は大学生活への期待よりも不安の気持ちの方が大きかったことを今でも覚えています。高校時代に大して勉強をしていなかったため大学の講義についていけるか、特に不安感を抱いていました。この不安感や高校時代もっと勉強すれば良かったという後悔と大学は学ぶラストチャンスだという思いが強くなり、大学の講義に対して必死で取り組みました。学業に対する姿勢が変わったことで、学ぶことの楽しさとその贅沢さを感じるようになった。

り、より一生懸命学ぶことができたと思っと思っています。そのような中で、一年次の時に特待生に選ばれました。両親はとても喜んでくれ、大学に通わせてくれていて両親に恩返しできたようで私自身嬉しい出来事でした。このある意味での成功体験が一大転機であったと思います。真剣に取り組み努力した分は結果として現れるという当たり前のことを実感し、大きな自信にもなりました。そして、この出来事を契機に向上心を強く持つことができるようになったと思っっています。ここで得た自信と向上心によって、学業問わず目の前の物事に対して高い目標を持ち、その目標達成のために多くの時間を割いて努力する姿勢が身に付き、自分の人生に対して本気で向き合えるようになりました。また、今まで自分が経験したことのない新しいことにチ

ヤレンジしてみようという気持ちも自然と湧いてくるようになりました。この意識の変化は、今の私を形作る上で重要であったと感じており、今後の人生の糧になると確信しています。

この四年間の大学生活の中で、学業面以外でも多くの経験をすることができたと思っっています。特に二年次の春休みに行ったアイルランドへの短期留学は、異国の文化や生活、価値観などを知れる貴重な機会になりました。ホームステイ先での生活や他国の留学生との交流等により、今まで見えていなかったものが見えてくるなど、自分自身の見聞を広げることができたと思っっています。また、普段とは異なる環境に身を置いたことで、日本を、そして自分自身を見つめ直す良い機会にもなりました。何より、アイルランドでの日々は毎日が新鮮な体験の連続で充実していました。このアイルランドへの留学を通じて、挑戦や行動することの大切さを改めて感じました。

三年次からは、会社法の高岸ゼミに所属していました。そこでは、ゼミ長を務めていましたが、ゼミ長として特に何かをしたという記憶はあまりありません。(笑) 高岸先生や魅力的なゼミの仲間との交流は面白く、ゼミに行くのが毎週本当に楽しみでした。また、ゼミの仲間は教職

や民間企業、私と同じ公務員を目指す人などそれぞれが自らの目標に向かって努力していました。その姿には大変刺激を受け、苦しいときには励みにもなりました。

この四年間の大学生活の中で知らないことを沢山学び、多くの初めてを経験し、少しは成長できたかなと思っっています。この二松学舎大学の日々を支えにし、春からはひとりの社会人として歩んでいきます。

最後に、こうして無事に卒業できたのも、学業・就職面をサポートしてくださった教職員の方々やともに学び切磋琢磨してきた友人たち、そして未熟で幼稚な私をこれまで親身に支えてくれた家族のおかげです。お世話になったすべての方々に、この場を借りて心から感謝を申し上げます。ありがとうございました。



●卒業後も支援します！

卒業生の皆様、卒業おめでとうございませう！  
皆様を選んだそれぞれの進路において、卒業後も成長し、活躍されることを、キャリアセンターでは大いに期待しております。

二〇一八年度卒業生のご父母の皆さま、おめでとうございます。

二松学舎大学は、学生・卒業生を財産だと思っております。卒業後におきましても就職・就労に関する相談を受け付けております。カウンセラーの予約も可能です。進路変更の報告や就職のご相談もお寄せください。

卒業後も仕事で悩むことがあれば、大学に相談していただきたいと思っております。  
ご父母からもご子女を応援・フォローしていただければと存じます。引き続き、よろしくお願いいたします。

●就職活動、本番です！  
新四年次生の就職活動は、すでに佳境です。

近年の就職活動は短期化が進んでおります。短期間に集中して行なわれるため、学生はその間、非常に忙しくなります。また四月以降は卒業に向けて授業や研究も深く入り、学業も疎かにできません。

就職活動は、学生が大きく成長する機会です。社会との接点を持ち、将来を考え、様々な試練を受けます。反面、悩んだり、困ったことに遭遇することもあります。

ご子女がセンシティブになる時期です。ご父母の皆さまにも、学生への温かいご支援をお願いいたします。

キャリアセンターでは、履歴書の添削や模擬面接など具体的な就職支援を行なっております。

併せて就職活動の悩みなどについてもカウンセリングを受け付けています。ぜひキャリアセンターで相談してほしいと思います。キャリアセンターは進路支援のプロフェッショナルです。

●今どきの就活は、ご父母のときと違います！

ご父母の皆さまのときの就職活動と今では、産業構造も変化し、情報ツールも多様化し、なにかも変わっております。ご父母の皆さまにも今の就職活動を知っていただき、どのような支援が適切なのかをご理解いただくために、新三年次生のご実家宛てに『就活支援ブック 保護者編』を、お送りしております。

同封のその他の書類はご子女にお渡しください。(学生が一人暮らしの場合にこのタイミングで引越すことが想定されるので一律ご実家宛て送付とさせていただきます)

いよいよご子女の就活が迫ってきてご父母の皆様が不安を感じないように、冊子をお配りしておりますので、ご高覧いただければ幸いです。

アー  
リタリ  
キャン  
よ  
キセだ  
54



企業の採用担当者による面接練習



外部講師による就活マナー講座

学生相談室では、学生の皆さん

だけでなく保護者の方への支援も行っております。相談の利用を検討される際に参考になるかもしれないことをお伝えしたいと思っております。

まず、相談の内容ですが、学生に関することであれば些細なことでも受け付けています。すべての相談内容にとつて学生相談室がふさわしいとは限らないのですが、学生のことでの悩み、お困りのことがありましたら、まずは一度使ってくださいと思います。もし他の部署や他機関での相談の方が適切と思われる場合、そちらもお勧めすることもあります。

学生相談室  
だより 104  
カウンセラー 横尾奈央子

また、相談の時期ですが、相談するのに早すぎることや遅すぎることありません。こんなことで相談するのは大袈裟かな、と思われるかもしれませんが、あるいは問題が大きくなっているような場合、今さら相談しても、と思われるかもしれませんが、時期によって可能な支援や提供できる情報は異なるものですが、いつ

ご相談されてもそのときにできることがあると思います。相談してみようかな、という気持ちさえあれば、相談の時機と想っていただけなら幸いです。

最後に、もしかしたら、学生のことであれば本人が相談しないといけないのではないかと、思われるかもしれませんが、確かに学生本人が自ら来談されるのと保護者の方がいらつしやるのは意味が異なります。しかし、学生が来るのが難しい場合や学生には相談する気持ちがない場合はまずは保護者だけでも相談に来ていただけたらと思います。保護者のみがか来談を継続され、学生との関わり方や学生にとつてどんなことがサポートになるのかを一緒に考えていくこともあります。そしてそれが結果的に学生本人に変化をもたらすこともあります。

春は節目の時期であり、相談の利用が増える時期です。気軽に使っていただけなら幸いです。もし相談してみたい、と思われたらぜひご連絡下さい。

# 学生顕彰報告

## ● 団体

書道部  
第103回書教展 優秀団体賞  
VOGEL R.S.C  
第25回よませ全国学生スキーチャ  
ンピオンシップ 女子団体優勝

## ● 個人

橋岡久嵐梨鈴さん  
全日本きもの装いコンテスト世界  
大会 準女王  
大槻蓮さん  
第103回書教展 読書新聞社賞  
荻野鈴奈さん  
第35回読書書法展 入選  
小島徳仁さん  
第35回読書書法展 入選  
第103回書教展二松学舎大学学長賞  
近藤克昭さん  
第103回書教展 文部科学大臣賞  
紺野真生さん  
第103回書教展 全日本書道連盟賞  
第6回葛飾柴又帝釈天全国書道コ  
ンクール 葛飾区教育委員会賞  
磯部里奈さん  
越谷市書道連盟展覧会  
副会長賞(漢字部)  
関南新春誌上展秀作(かな条幅部)  
堤拓斗さん  
第70回毎日書道展U23  
入選(大字書部)  
第36回安芸全国書展 入選  
第49回越谷市書道連盟展覧会  
特選  
関南新春誌上展

## 特選賞(漢字条幅部)

廣野花音さん  
第103回書教展 審査委員長賞  
第6回葛飾柴又帝釈天全国書道コ  
ンクール 二松学舎大学学長賞  
第7回葛飾柴又帝釈天全国書道コ  
ンクール 柴又帝釈天賞  
大野佳織さん  
第37回ふれあい書道展  
第6回葛飾柴又帝釈天全国書道コ  
ンクール 柴又帝釈天賞  
勝亦真子さん  
第70回毎日書道展U23  
入選(近代詩文書部)  
河原隼人さん  
第103回書教展 審査委員長賞  
第6回葛飾柴又帝釈天全国書道コ  
ンクール 中国大使館文化部賞  
沢田真理奈さん  
第103回書教展 協会賞(毛筆部)  
第6回葛飾柴又帝釈天全国書道コ  
ンクール 葛飾柴又眞さん記念館賞  
下川創騎さん  
第103回書教展 審査委員長賞  
第70回毎日書道展U23  
第67回独立書展 奨励賞(大字書部)  
佳作  
杉森円香さん  
第103回書教展 審査委員長賞  
千葉初音さん  
第37回ふれあい書道展  
熊野筆事業協同組合理事長賞  
第68回書道学会展 入選  
庭山真有さん  
第103回書教展 審査委員長賞  
第25回大門碑林全国書道展  
堀内郁奈さん 紙の町賞

## 第37回ふれあい書道展

山口真由さん  
第70回全日本学生清書コンクール  
熊野町商工会長賞  
河野真実さん  
第103回書教展 審査委員長賞  
三本木かや乃さん  
第70回全日本学生清書コンクール  
内閣総理大臣賞  
守口晏南さん  
第103回書教展 中国大使館賞  
柴田ひよりさん  
第103回書教展 審査委員長賞  
第60回全国書道展 推薦  
山田裕愛さん  
第70回毎日書道展U23  
入選(漢字部Ⅱ類)  
須藤陽恵さん  
第42回全国学生書写書道展  
日本学生公募大賞  
第34回全国硬筆コンクール  
全書会会長賞  
第35回全国年賀はがきコンクール  
全書会会長賞  
竹下結菜さん  
第103回書教展二松学舎大学学長賞  
大村輔さん  
東都大学軟式野球秋季リーグ戦  
ベストナイン遊撃手  
金田亮太さん  
東都大学軟式野球春季リーグ戦  
ベストナイン捕手  
東都大学軟式野球秋季リーグ戦  
ベストナイン捕手  
小曾根悠太さん  
東都大学軟式野球春季リーグ戦  
盗塁王  
東都大学軟式野球秋季リーグ戦  
盗塁王  
盗塁王 ベストナイン中堅手

## 岩永凌児さん

東都大学軟式野球春季リーグ戦  
最優秀選手賞 首位打者  
本塁打王 打点王  
東都大学軟式野球春・秋季リーグ  
ベストナイン三塁手



## 課外活動団体助成報告

### 狂言研究会

第39回自演会 ポスター等印刷費  
助成

### 書道部

第52回二松学舎大学書道部学外展  
会場借用費助成

### 劇団こんにはシアター

劇団こんにはシアター卒業公演  
会場借用費助成

### 落語研究会

「みてくれ寄席」 会場借用費助成

## 2019年度二松学舎大学日程表

年	月	日	月	日	日 程	
二〇一九年	3	25	~	4	6	ガイダンス期間（10日間）
	4	1				入学式
	4	5				新入生歓迎式典
	4	8				春semester授業開始
	4	20				前期授業料納入期限
	5	6				（振替休日）：授業実施
	5	25				父母会定期総会
	6	23				文化祭（九段）
	7	15				海の日（授業実施）
	7	15	~	8	3	試験期間（定期試験期間を含み18日間）
	7	27				授業期間終了
	8	4	~	9	12	夏期休業期間（40日間）
	8	16	~	8	17	追試験
	9	6	~	9	9	ゼミ合宿期間
	9	13				秋semester授業開始
	9	16				（敬老の日）：授業実施
	9	23				（秋分の日）：授業実施
9	28				春semester学位記授与式	

年	月	日	月	日	日 程	
二〇一九年	10	10			創立記念日（休講）	
	10	14			（体育の日）：授業実施	
	10	20			後期授業料納入期限	
	11	1			学園祭準備（休講）	
	11	2	~	11	3	学園祭
	11	23				（勤労感謝の日）：授業実施
	12	20	~	1	30	試験期間（定期試験期間を含み18日間）
	12	24	~	1	6	冬期休業期間
二〇二〇年	1	9			授業再開	
	1	18	~	1	19	センター試験（16日・17日・18日休講）
	1	23				授業期間終了
	2	5	~			卒業研究面接試験（国際政経）
	2	7	~	2	8	卒業論文面接試験（文）
	2	12	~	2	13	追試験
	3	上旬				卒業生発表
	3	上旬				進級生発表
3	16				学位記授与式（卒業式）	

❁ 父母会では、大学の140周年記念事業の一環として、学生が利用している総合ポータルサイト「Live Campus（ライブキャンパス）」の保護者サイト構築のサポートをしました。この度準備が整い、4月1日から運用が始まりました。

❁ これにより、ご父母の皆さまが直接ご子弟の履修状況・出席状況等をほぼリアルタイムで確認することができます。

### 👉 こんなことができます

〈利用できる主な機能〉

—ポータルシステム—	—教務システム—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業連絡、学内連絡</li> <li>・出席状況※</li> <li>・パスワードの変更</li> </ul>	（参照） <ul style="list-style-type: none"> <li>・個人時間割</li> <li>・成績情報</li> <li>・学籍情報</li> </ul>

※科目によっては、反映に時間がかかる場合があります。



（イメージ）

**アクセス方法** <https://www.lc.nishogakusha-u.ac.jp/>  
 アカウント：学生番号（半角英数字 大文字）  
 例) 219A8001  
 パスワード：学生番号のアルファベット+保護者電話番号  
 例) A0332617427（10~11桁）

マニュアル冊子は、父母会定期総会資料に同封させていただく予定です。（5月上旬発送予定）

※推奨環境 Google Chrome、・・・  
 タブレット・スマートフォンでの利用の場合、表示が崩れ利用できない場合があります。

保護者ポータル運用開始

# お知らせ

## 二〇一九年度 父母会定期総会について

左記の日程により、二〇一九年度二松学舎大学父母会定期総会を開催いたします。当日は、講演会を予定しております。

日時・二〇一九年五月二十五日(土)  
場所・二松学舎大学九段キャンパス  
一号館

内容・二〇一八年度事業報告並びに

- 決算
- ・二〇一九年度事業計画並びに  
予算

新二年次生〜新四年次生の会員の皆様には、二〇一九年度定期総会のご案内と出欠票(委任状)をこの父母会報第一〇四号に同封しておりますので、ご確認願います。

また、準備の都合上、ご出欠を同封の出欠票(委任状)で四月二十五日(木)までにお知らせください。

定期総会資料につきましては、五月中旬に郵送にてお届けします。

## 二〇一九年度 地区別父母懇談会について

父母会事業計画の一環として、毎年地区別父母懇談会を開催いたします。

二〇一九年度の開催地は、石川県・宮崎県・大阪府・福島県・山形県・静岡県・山梨県・岡山県・栃木県・東京都の十会場を予定しております(日程は左の表をご確認ください)。

この地区別父母懇談会は、大学の現況、履修の状況、学生生活の状況、就職活動の支援等についての

説明があります。

全体説明終了後、個別相談を行います。大学への質問及びご意見・ご要望などを大学関係者に直接話が出来る機会です。この機会をぜひご利用ください。

フリー参加形式としておりますが、会員の皆様に改めて事務局より開催案内をお送りし、出欠の確認をお取りします。万障お繰り合わせの上、ご参加願います。

### 2019年度 地区別父母懇談会日程表

開催日	開催地区
6月15日(土)	石川県(金沢市)
6月15日(土)	宮崎県(宮崎市)
6月22日(土)	大阪府(大阪市)
6月23日(日)	福島県(福島市)
6月29日(土)	山形県(山形市)
6月30日(日)	静岡県(静岡市)
7月6日(土)	山梨県(甲府市)
7月7日(日)	岡山県(岡山市)
7月13日(土)	栃木県(宇都宮市)
7月21日(日)	東京都(本学九段キャンパス) ※東京都・神奈川県在住の父母会員対象
7月28日(日)	東京都(本学九段キャンパス) ※千葉県・埼玉県在住の父母会員対象

## 編集後記

寒かった冬も終わりを告げ、花のつぼみもふくらみ、春の景色の中を心地よい風が吹きはじめています。

父母会会員の皆様におかれましては、日頃より父母会活動へのご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

平成三十一年も残すところあとわずかとなり、五月一日には皇太子徳仁親王が即位し、新しい元号の時代が始まります。

平成とは「国の内外・天地とも平和が達成される」という意味があるようですが、振り返ると様々な出来事や、決して忘れることのできない大災害が数多くありました。平成に起きた出来事を忘れることなく、新しい元号とともに新しいスタートを切り、皆様の未来に幸多きことを祈っております。

変化していく時代の中、父母会は学生と父母の皆様方、そして大学のために最善を尽くして参りますので、ご支援ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。